



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	経済学Ⅱ
教科書	飯田幸裕、岩田幸訓「入門経済学」創生社
補助教材等	伊藤元重「ミクロ経済学」日本評論社
学習上の留意点	
<p>授業はテキストのみならず配布の資料を用いて行うが、用語の理解を早めるために該当するテキストの範囲を予習することを求める。演習問題では数式を使った問題を中心に行う。レポートでは、提出要件に従った適切な形式になっているか提出前の自己点検を求める。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>経済学Ⅰ、Ⅱで行うミクロ経済学、マクロ経済学は経済活動のある種のモデルとして捉え、現実の経済を視るための道具となるものです。その考え方をなるべく適切に説明するために複雑で難しい言葉となりがちなのと、数式を使ったモデルが出てきますので、文理両方の力を鍛えてください。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	ミクロ経済学の視座について説明を聞き、その全体像がおぼろげながらわかる	次回以降の予習を行う
2	消費者理論	消費者行動理論について、概要ならびに消費者行動を決定する要素が何か理解できる	次回以降の予習を行う
3		予算制約下での効用最大化について理解できる	次回以降の予習を行う
4		個人の需要曲線の導出ならびに市場の需要曲線の導出方法が理解できる	次回以降の予習を行う
5	生産者理論	企業行動に基づく生産者理論の概要を理解し、企業が何に基づいて生産量を決定するのかその要素について分かる	次回以降の予習を行う
6		平均費用、平均可変費用、限界費用などについて理解できる	次回以降の予習を行う
7		1企業の供給曲線の導出について理解し、市場の供給曲線を導出過程が理解できる	次回以降の予習を行う
8	中間試験		
9	市場分析	完全競争市場における市場均衡の導出過程を理解できる	次回以降の予習を行う
10		独占・寡占などのケースについて理解する	次回以降の予習を行う
11	厚生経済学	生産者余剰・消費者余剰、社会的総余剰などの概念が分かる	次回以降の予習を行う
12		2財モデルをベースにパレート最適性について理解する	次回以降の予習を行う
13	市場の失敗	市場の失敗のケースについて其々理解できる	次回以降の予習を行う
14		市場の失敗のケースにおける政府の役割について理解する	次回以降の予習を行う
期末試験			
15	まとめ	期末試験の解説とともに、全体の学習事項のまとめを行い、それを理解できる	
総学習時間数			45 時間
講義			30 時間
自学自習			15 時間